

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

消化管緊急内視鏡検査および治療成績の検討

1．研究の対象および研究対象期間

2010年1月から2028年12月までに当院で消化管緊急内視鏡検査を受けられた方

2．研究目的・方法

消化管緊急内視鏡は消化管出血の診断・治療や、消化管異物除去を目的として広く行われています。近年の人口の高齢化に伴い、基礎疾患や抗血小板薬などの服用による消化管出血が増加しています。緊急内視鏡では原因の診断後、その病態や疾患に対応して、凝固止血やクリップ鉗子また鉗子を用いた異物除去などを適宜選択します。

消化管緊急内視鏡に関しては、様々な検査治療のストラテジーおよびガイドラインが提唱されていますが、一方で検討が不十分で診断基準・治療方針が不明確な疾患も依然として存在しているのが現状です。前処置、前投薬はどのように使用するか、どのような症例にどのような治療手技を選択するかなどは術者の裁量に委ねられているのが現状です。本研究では消化管緊急内視鏡処置の、各種併存疾患との関連、偶発症リスク因子の同定・評価、検査や治療の安全性や有効性、短期・長期予後などを評価し、緊急内視鏡処置における診断基準や治療ガイドラインの作成の参考となるような学術的構築を行うことを目的とします。

3．研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2029年3月31日まで

4．研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、緊急内視鏡検査詳細および成績、緊急内視鏡治療詳細および成績、緊急内視鏡検査、治療後の長期成績

5．外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

6 . 研究組織

研究責任者 研究機関名 昭和大学医学部内科学講座消化器内科学部門 氏名 居軒 和也

7 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

所属：昭和大学病院（医学部内科学講座消化器内科学部門） 研究責任者：居軒 和也

住所：142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8535